

教育委員会定例会（平成27年8月）会議録

1 日 時	平成27年8月12日（水）14:00～16:45
2 場 所	別子銅山記念図書館 多目的ホール
3 出 席 者	委員長 三木 由紀子 委員 伊藤 嘉秀 宮内 文久 長野 美和子 教育長 阿部 義澄 事務局長 木村 和則 総括次長 眞鍋 育朗 次 長 高橋 良光 横井 邦明 赤尾 恭平 課 長 高橋 正弥 渡辺 環 曾我部 みさ 桑原 一郎 指導主幹 井上 美樹
4 教育長の一般報告	教育長の報告 7月分行事報告及び8月分行事予定について その他
5 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6 会議の概要	<議案> 議案第38号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について 議案第39号 新居浜市美術品購入基金条例施行規則の制定について <いじめ、不登校等生徒指導関係について> <その他> (1) 平成27年度教育委員会取組方針について (2) 学校図書館支援センターだより

<p>三木委員長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成27年第8回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宮内委員さん、伊藤委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成27年第7回定例会会議録承認は、私三木と宮内委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>議案審議に先立ちまして、傍聴の皆様「新居浜市教育委員会傍聴人規則」についてご説明いたします。入場の際にお配りしました「新居浜市教育委員会傍聴人規則」をご覧ください。ここで、再確認させていただきます。それでは、読み上げさせていただきます。</p> <p><「新居浜市教育委員会傍聴人規則」を読み上げる></p> <p>以上が、「新居浜市教育委員会傍聴人規則」でございます。第4条で規定しております行為をされた場合は退場いただくこととなりますので、静かに傍聴をお願いいたします。</p> <p>ただ今から議案審議に入ります。報道関係の方々、以後は写真撮影等のご遠慮いただき、着席して傍聴をお願いいたします。</p> <p>それでは、議案第38号「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>議案第38号「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」ご説明を申し上げます。平成28年度から新居浜市の中学校で使用する教科用図書について採択をいただくということでございます。採択の権限は、公立学校については所管の教育委員会にございます。教科書の決定を採択といたします。</p> <p>教科書採択については、平成20年3月に新学習指導要領が告示され、平成23年度に現在中学校で使用されている教科書が採択されました。本日の教育委員会の教科書採択は、採択した年より4年目に当たる、法で示された採択の年にあたり、新学習指導要領に基づく2回目となっております。9教科15種目について採択をいただきます。</p> <p>教育委員会の採択に当たりまして、参考資料を取りまとめるため、「教科用図書採択委員会」を設置し、6月12日(金)、7月24日(金)の2回にわたり、協議検討をいただきました。「教科用図書採択委員会」において、協議検討をいただくための資料として、まず1つは、学校現場の教員の意見を各学校単位にとりまとめ提出しております。これ</p>

	<p>は、各学校全ての教員が、6月19日から当、別子銅山記念図書館において開催されました「教科書展示会」において、教科用図書を閲覧し、個々に「私の評価表」として評価したものを、各学校長に提出し、これを各校長が「学校の評価」としてとりまとめ、教科・種目ごとに1位、2位の出版社を選定し、提出をいただいたものです。</p> <p>次に、「教科用図書採択委員会」における協議検討の2つ目の資料として、教科ごとに、市内中学校教員の中から3名の調査員を選定し、専門的調査を行い、A(極めて適切)、B(適切)、C(おおむね適切)、D(工夫を要する)の4段階でご意見をいただいております。</p> <p>3つ目の資料としては、市民の意見をお伺いするというので、別子銅山記念図書館において開催いたしました「教科書展示会」で、意見箱を設置し、広く市民の皆様からのご意見をいただくというものです。本年度は、教科書の内容や採択に関する市民からのご意見は12件ございました。</p> <p>これらの資料を基に、「教科用図書採択委員会」がとりまとめ所見を付け、採択委員会として選定した出版社を◎で、次点となったものを○で示し、教育委員さんのお手元に配布させていただいております。教科用図書採択委員会でとりまとめをいただきました資料を参考にさせていただき、採択をいただきたいと存じます。</p> <p>採択をいただく単位ですが、お手元議案資料に添付いたしております「平成28年度使用中学校教科用図書の調査結果の総括」の9教科15種目についてご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。議案について事務局から説明がありましたが、質問等はありませんか。</p>
伊藤委員	<p>市民の方からのご意見をいただいているとの事ですが、その内容について紹介していただけないでしょうか。</p>
井上指導主幹	<p>市民の方からのご意見として、教科書展示会でいただきましたご意見が12件、郵送またはFAXなどによるものが7件、合計19件のご意見をいただきました。その内容については、みなさまのお手元の「市民からの意見」の冊子に載せておりますので、そちらの方をご覧ください。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。先ほど話にもありましたように、市民か</p>

	<p>らのご意見をたくさんいただきました。大変感謝しております。新居浜の子どもたちのことを本当に大事に思ったださっていることがわかり、本当にうれしく思いました。みなさんのご意見を真摯に受け止め、教科書の内容を十分に読ませていただいたうえで、私たち教育委員としてそれぞれの考えのもとに、採択させていただければと思っております。よろしくお願ひします。その他、ご質問はありませんか。</p>
長野委員	<p>教科用図書採択委員会の委員さんは、今回はどのような方がなられているのですか。</p>
井上指導主幹	<p>教科用図書採択委員さんについては、新居浜市教科用図書採択委員会設置要綱に基づき、小中学校の校長及び教員の代表、小中学校の保護者の代表、学識経験者に教育委員会事務局から任命・委嘱させていただいております。内訳としましては、小中学校の校長及び教員から3名、小中学校保護者から3名、学識経験者1名、教育委員会事務局の職員から3名となっております。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、ご質問はありませんか。</p>
宮内委員	<p>調査員さんがあらかじめ調査した資料を教科用図書採択委員会に上げるということですがけれども、その調査員の人選は、どのように行われたのですか。</p>
井上指導主幹	<p>調査員については、設置要綱に基づくとともに、選出にあたっては校長及び教員の中から、市教科会での役員経験及び実績、教務主任や研修主任など校務分掌の経験者、教科における実績等を考慮し総合的に判断を行い、教育委員会が委嘱しております。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、ご質問はございませんか。 それでは、9教科15種目についての教科用図書について、順に審議を行い、採択を行います。 まず、国語について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>国語についてご説明いたします。お手元資料「調査結果の総括」の1ページをご覧ください。5つの出版社を対象にしています。調査員は、光村図書と三省堂がA、そのほかはBとしております。学校の評</p>

	<p>価では、光村を1位に推しているものは10校、第2位としている学校が2校です。三省堂は、第1位としている学校は2校であり、2位としている学校は3校です。採択委員会においては、小学校との継続が図られることも考え、それらを総括し、光村図書を選定、三省堂を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、委員さんからご意見をお願いします。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>国語は、日本語の美しさや将来自分の意見を発表するときに基礎となる非常に重要な教科だと考え、その中で私が見たところ、光村は取り上げている教材に興味を引くものが多く、また身近なものを取り上げていて読みやすいレイアウトが特徴的だったことから、私は光村を推薦します。また、三省堂は教科書の中に様々な書体が用いられていて統一感に乏しいこと、教育出版は全体的に表現が難しい、学校図書は内容が難しく、また挿絵も大きいため圧迫感があり、東京書籍ではレイアウトに統一感がないということにより、光村を推薦します。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
<p>長野委員</p>	<p>私も光村が適当ではないかと思います。先ほどお話にもありましたが、小学校からの継続という理由が一つで、会社の表現というのは学習には大きく影響してくると思います。そういう意味でも、小学校も光村、中学校でも光村だと非常にスムーズに学習がつながるのではないかと思います。また、宮内委員さんもおっしゃったように、国語というのはすべての教科の基礎となる大変重要な教科だと思います。その重要な教科ではございますが、子どもたちが意欲を持って取り組むというのはなかなか難しい面もあります。光村の場合、内容も工夫されていて子どもたちの意欲をかきたてるよう作られていて、また各学年とも最初の学習の方向がとても丁寧で、子どもの意識に沿って記されたりしていて、大変工夫されていると感じました。その他の出版社についても、同様のことは言えるのですが、一番子どもたちの心に残るのは光村だと思いましたので、私も光村を推薦したいと思います。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>

阿部教育長	<p>私も光村がいいと思いました。理由としては、子どもたちが身につける力、また言葉への感覚、また生き方を考えることを基本方針において編集されていると思いました。そして、なぜ国語を学ぶのか、どのように学ぶのか、どんな力がつくのかがはっきりわかるように教材が工夫されていて、学ぶ意欲を起こさせてくれるのではないかと思います。また、古典教材や防災、理系の科目も中に入っているので、ただ言語だけではなく、他の教科に対しても興味関心を持てる教材があり、そのようなところから生徒が主体的に勉強に取り組めるのではないかなと思いました。また、教育委員会では今年から学校図書館支援センターを配置して、図書館教育を充実させていこうとしています。その中で、教材の中に読書記録や読書生活を充実させるための教材が入っておりまして、発展的な学習につなげていくことができると考えます。そのような点からも光村を推薦します。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。国語の教科書について、光村図書が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、国語について光村図書を採択といたします。</p> <p>次に、国語・書写について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料の2ページをご覧ください。国語・書写についてご説明いたします。5つの出版社を対象にしております。調査員は、光村図書、学校図書をA、三省堂、教育出版をB、東京書籍をCとしております。また、学校の評価については、光村図書を1位に推している学校が11校、2位に推している学校が1校。学校図書を1位に推しているところは0校、2位としているところも0校となっています。教育出版に関しては1位に押している学校が0校、2位としているところが7校あり、学校の評価が光村図書に次いで高くなっております。採択委員会においては、それらを総括し、国語科との関連も考え、光村図書を選定、教育出版を次点としております。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは委員さんからご意見をお願いします。</p>

<p>阿部教育長</p>	<p>ます。</p> <p>光村の教科書は「基礎編」「学習編」「資料編」の三部構成となっていました。そのようなところから学習のポイントがわかりやすくなっていました。また、書写は週の授業時間も少ないため、やはり短時間で効率的な学習ができること、また巻末の資料というのは学年や時期を限定しないため、必要なときに活用できるのではないかなと思いました。そのようなことから三年間の学習内容が一冊にまとめられていて、全体的に使いやすいように仕上がっている光村の教科書を推薦したいと思います。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。国語・書写の教科書について、光村図書が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、国語・書写について光村図書を採択といたします。</p> <p>次に、社会・地理的分野について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>井上指導主幹</p>	<p>資料の3ページをご覧ください。社会・地理的分野について説明いたします。4つの出版社を対象にしております。調査員は、帝国書院をA、教育出版をB、その他をCとしております。また、学校の評価については、帝国書院を1位に推している学校が7校、2位としているところが2校。教育出版を1位に推しているところは0校、2位としているところは2校となっています。また、東京書籍を1位に推しているところは5校、2位としているところは4校となっています。東京書籍に関しては1つの項目で調査員の意見が大きく分かれたため、教育出版とほぼ同じ評価ながらC評価となっておりますが、学校の評価が高い点を考え、採択委員会ではそれらを総括し、帝国書院を選定、東京書籍を次点としております。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは教育委員さんからご意見をお願いします。</p>

伊藤委員	<p>私は地理については、その地域や国々の特性がよく理解でき、それぞれに興味湧いてくる教科書がいいと思っています。そういう意味で、調査員の方々、採択委員の方々と意見が一緒なのですが、帝国書院を推薦させていただきます。帝国書院の教科書は、その他の出版社のものと比較すると、それぞれの国々や日本の各地、地域の特性がよく表現されていまして、教科書を読んでいくうちに国や地域に非常に興味を持てるようなつくりになっています。そういう意味で非常によくできた教科書だと考えます。そして、写真も迫力があり見入ってしまうものが多く、そういったことから、帝国書院を推薦します。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
阿部教育長	<p>地理の教科書は、地図と一体になって作られているということも考えていく必要があると思っています。帝国書院の教科書は、愛媛県や新居浜市に関する資料が掲載されているなど、内容が生徒の生活や経験などに対して配慮されているように思いました。また、新居浜市は現在ESDの推進に取り組んでおりますので、特に帝国書院の教科書は、地域の課題を調査して発表する単元がいろいろなところに設けられており、ESDへの理解やこれからの教育方法の一つとして言われているアクティブラーニングへの手法に近いものがあるので、生徒の自立的な活動へ導きやすい教科書ではないかと思い、帝国書院を推薦したいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。社会・地理的分野の教科書について、帝国書院が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、社会・地理的分野について帝国書院を採択といたします。</p> <p>次に、社会・歴史的分野について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料4ページをご覧ください。社会・歴史的分野について、ご説明いたします。8つの出版社を対象にしております。調査員は、育鵬社をA、東京書籍、帝国書院をB、日本文教出版、教育出版、清水書院</p>

	<p>をC、その他をDとしております。また、学校の評価については、育鵬社を1位に推している学校が2校、2位としているところが2校。東京書籍を1位に推しているところは10校、2位としているところは1校となっています。また、帝国書院を1位に推しているところは0校、2位としているところは3校となっています。採択委員会ではそれらを総括し、育鵬社を選定、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>それでは、社会・歴史的分野の採択にあたって、各委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
阿部教育長	<p>8社の教科書が提案されています。そして、国や県教委から市教委へ出されている採択する場合参考にする選定資料で、すべての教科書が適切と伝えられています。また、すべての教科書が学習指導要領に基づいて作成されているので、地域の教育の格差については心配がないと思っています。そのようなことから教科書の採択にあたっては、自分が生まれた郷土と国家の文化と歴史に共感できる健全な授業を行える教科書を選んでいきたいと思っています。子どもたちが教科書を使って学習していく中で自分を振り返ってみたとき、自分たちの親またその親と、我々日本人やいろんな国の人々がずっと続いてきていると思います。そのような中で、しっかりと足を踏みしめて生きていける豊かな風土としての新居浜や祖国日本への感謝の思いを持つことが普通ではないかなと、否定をすればいけないのではないかなと思います。そのような中で、家族愛を育んだり、ふるさとを愛したり祖国愛があって初めて人類愛も結ばれるのではないかと、言い換えると、両親を大切にまたは家族を愛し、ふるさとを愛し祖国の文化や伝統を愛することができることによって、他国の人々と同じ思いや願いを理解することができるのではないかなと思っています。そのようなところから、育鵬社の教科書は多角的に歴史事象を捉えているのではないかと思います。特に女性に焦点を当てたコラムが掲載されていること、また全体を通して人物に焦点を当てた教科書構成となっていることから、人生や人の生き方の積み重ねを教えていくというのも一つの歴史学習ではないかなと思ひ、そのようなことから人の生き方を示すことにもつながっていくと思います。日本人だという意識を持ったうえで、世界に羽ばたくグローバルな人間に育ててほしい。そのためには自国の良さや誇りを知り、身につけて、世の中へ出て行ってほしいと思います。</p>

	<p>新居浜市教育委員会では現在、ふるさと学習に取り組んでいます。それは、新居浜で育った子どもたちが、新居浜や日本に誇りを持ち、将来世界に羽ばたいて行ってほしいという願いがあります。また今、地方創生ということが言われていますが、まず地域を愛して地域を学んで、胸を張って地域のことを話せる子どもを育てていく、ふるさとを大事にする若者を育成していくことが地方創生にもつながっていくのではないかと、そのような意味で私は育鵬社の教科書を推薦したいと思います。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
<p>長野委員</p>	<p>私も採択委員会の選定に賛成したいと思います。すべての教科書に目を通しましたが、育鵬社は日本の視点に立ってということが非常に際立っていたと思いました。そのことについてやはり様々なご意見が多いと思いますけれど、先ほどの教育長さんの話にもありましたが、これから子どもたちは国際人として、日本だけでなく世界各国と協調して生きていかなければいけないと思います。そういうときに、それぞれの国の子どもたちもきっと同じだと思うのですが、まず自分の国について深く知り、生き方や考え方を身につけ、そのうえでお互いに協調して生きていくことが求められるのではないかと思います。歴史の授業をただ単に歴史的な事実を知識として捉えるような学習ではなく、それぞれ立場が変われば一つの事実の見方や考え方が異なるということも教科書を使って勉強する中で発見して、それを考えたり、議論して深く掘り下げながら判断し、また自分たちも先人たちの生き方に負けないような、よりよい歴史を作っていくような生き方をしていかなければならないという意欲や態度を培っていかねばならないのではないかなと思います。そういう意味でも日本人としての自覚、日本人であるということの意味、たくさんの先人たちが歩んできた道を学習することは重要なことであると思いますので、育鵬社を推薦したいと思います。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>歴史は日本が誕生してから今までの過程を振り返るとともに、歴史に学んでこれから先日本がどうなっていくのかということを見ると、非常に大事な教科書であると考えられます。特に、市民の方から</p>

たくさんの方の声やご意見がございましたが、中でも取り上げているのが第二次大戦に対する評価とその後の日本の在り方だと思いますので、そういった部分を中心にすべての教科書を読ませていただきました。私の考えと採択委員会や調査員の意見が少し異なる部分がありましたのでどの教科書を採用するかは非常に悩みましたが、私が一番どうしてもお願いしたいのが、戦争はいけないことだと教えやすい教科書であるかどうかです。どんな理屈があっても、どんな正義があっても、どんな法律があっても、戦争は許されないことだと私は考えています。そういったことを思いながら教科書を読みましたが、育鵬社に関しては、1ページに多くのことを詰め込みすぎてレイアウトが雑多であると感じました。また、記述が細かいところとそうでないところがあり、ばらつきがあると思いました。私個人としては、占領下の日本と日本国憲法の制定に関しては、育鵬社は少し乱暴ではないかと感じました。東京書籍に関しては、「進めよう」というコラムと「歴史にアクセス」というコラムが脈絡なく配置されているので、全体の統一性に乏しい教科書だと思いました。また、民主化と日本国憲法についても少し違和感を感じました。帝国書院に関しては、同じように「歴史を探ろう」というコラムがありましたが、本文とコラムの区別がつきにくく、子どもが学びにくいのではないかと考えました。ただ、新憲法については「新時代に認められた憲法」という表現がされていました。日本文教出版に関しては、世界と日本を対した年表や小学校で学んだ年表と対するなど、非常に学びやすい配慮がなされていました。第二次大戦に関しても「非常に深い傷跡を残した」と書いてあるのですが、ただ記述が非常に淡々としていて子どもたちの興味を引くだろうかという懸念があります。教育出版に関しては、記述が温厚で世界と日本を対した年表がわかりやすいし、日本文教出版より詳しい記述がありました。しかも、「平和国家を目指す」という表現もありました。清水書院に関しては、非常に記述が平板で子どもの興味が湧きにくいのではないかなと思いました。自由社に関しては、温厚な優しい表現がしてあるところと、私から見たら少し暴力的な表現ではないかなと思うところがあります。その中にマッカーサーの反省点があって、「何も公職追放などで日本はきちんとよくなる」という表現があったりします。全体通して子どもさんの教科書としては少し難があると思いました。それではどの教科書にするのかとなると、皆さんの意見を伺いながら決めたいと思っておりますけれど、採択委員会や調査員の方が私以上に努力を重ねて選定された育鵬社の教科書が評価に値する教科

<p>三木委員長</p>	<p>書ではないかなと思っています。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>皆さんが言われましたように、歴史の教科書は非常に大切な教科書だと私も認識しております。その中で私は四つの観点を特に見させていただきました。一つ目は、その教科書で学習することで、その教科が楽しいと思えるかどうか。二つ目は、中学生の時その教科書で学習することで、将来その教科についての知識をもっと深めていきたいという探求心を養えるかどうか。三つ目は、その教科書を読むことによって命の大切さ、人生を生き抜こうという力を養うことができるかどうか。四つ目はみなさんも言われていましたが、ふるさとに自信を持つことができるかどうか、今立っている自分の立ち位置を愛することができるのかということが大切だと思います。この四つの観点からすべての教科書を読ませていただいて、そのうえで私は育鵬社の教科書を推薦したいと思います。育鵬社の教科書は、読んでいくうちに歴史の中に引き込まれるような不思議な感じで、面白く楽しく読んでいくことができました。途中で教科書が途切れることなく、政治や文化などジャンルが移っていてもずっと続いて読める素晴らしい教科書だと思いました。そしてその中でも、何よりも多くの人物を取り上げていることが素晴らしいと思いました。今の子どもたちには情報があふれていますから、何がいいのか悪いのか、またこういう考え方もあるのかなど、調べようと思えばすぐ調べることができます。しかし、教科書の中に紹介されていないことがあると、自ら調べようというチャンスを減らしているということも言えます。私は人生を生き抜くヒントが多いのか少ないのかということが、歴史で言うと出てくる人物が多いのか少ないのかということにつながっていくのではないかと思います。そういうことを鑑みまして、私はこれから新居浜の子どもたちには育鵬社の教科書で学習してほしいと思います。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。いろいろなご意見いただきました。私からも意見を述べさせていただけたらと思います。採択委員会が選定された育鵬社の良いと思ったところは、歴史上の様々な出来事について本当に詳しい描写がなされているところ、また先ほどもお話がありましたけれども、歴史上の人物の話題が豊富でとても興味深く読めるところでした。ただ、歴史上の様々な出来事に対する観点がやや主観的、</p>

	<p>一方的なところがあるのかなと感じました。次点の東京書籍に関しては、歴史上の出来事いろいろ記述がありますが、客観的に記述してあることから、様々な視点から歴史を捉えることができるのではないかと思います。ただ、もう少し詳しい記述や人物描写があればいいなと感じました。それぞれに良いところがあると思ったのですが、採択委員会で出てきた結果を私も重視したいと思います。</p> <p>それでは、採決を行います。社会・歴史的分野の教科書について、育鵬社が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、社会・歴史的分野について育鵬社を採択といたします。</p> <p>次に、社会・公民的分野について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料5ページをご覧ください。社会・公民的分野について、ご説明いたします。7つの出版社を対象にしております。調査員は、日本文教出版をA、東京書籍をB、帝国書院、教育出版、清水書院、育鵬社をC、自由社をDとしております。また、学校の評価については、日本文教出版を1位に推している学校が8校、2位としているところが1校。東京書籍を1位に推しているところは2校、2位としているところは9校となっています。採択委員会ではそれらを総括し、日本文教出版を選定、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、社会・公民的分野の採択にあたって、各委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
阿部教育長	<p>私は日本文教出版の教科書を選びたいと思います。学習指導要領に示されている教材、分野の目標や内容に照らして適切なものが選定されていて、公平性を保ちながら掲載されていると思いました。また、学習内容の進化を図ることができるページの設定など、系統的、発展的に構成されていると思います。生徒が主体的に取り組めるような単位期間ごとの学習課題が示されており、課題の探求方針が詳しく解説されているなど社会的な見方や考え方が育つように配慮されていると思いました。そのようなことから、新居浜市が進めているE S Dの推</p>

	<p>進で子どもたちが主体的に学習に取り組める可能性がより高いものとして、日本文教出版の教科書を推進したいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
宮内委員	<p>私も採択委員会と同じ日本文教出版を推薦いたします。日本文教出版はわかりやすく組み立てていると同時に、内容もわかりやすく、また本文を理解させるためのグラフとか、レイアウトにも非常に工夫があります。しかも、その中に憲法の条文も掲載されていて、抜粋ですが法律が用意されているとか、用語集であるとか、そういったことで子どもたちが非常に取り組みやすいのではないかと思います。他の教科書も読んでみたのですが、やはり日本文教出版が一番子どもが学びやすい教科書ではないかと考えます。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。社会・公民的分野の教科書について、日本文教出版が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、社会・公民的分野について日本文教出版を採択といたします。</p> <p>次に、社会・地図について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料6ページをご覧ください。社会・地図について、ご説明いたします。2つの出版社を対象にしております。調査員は、帝国書院をA、東京書籍をBとしております。また、学校の評価については、帝国書院を1位に推している学校が11校、2位に推している学校が1校。東京書籍を1位に推しているところは、1校、2位としているところは11校となっています。採択委員会においては、それらを総括し、帝国書院を選定し、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、社会・地図の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>

阿部教育長	<p>先ほど地理の教科書の採択の時にお話ししましたが、地理と地図の一体化を考えます。それと、小学校では帝国書院の地図帳を使っていますので、児童から生徒へと変わる小中の連携を含めまして帝国書院がいいのではないかなと思います。また、帝国書院の地図帳は鳥瞰図が多く使われていて、地域のイメージ作りに役立つと思います。一体感のある地図に仕上がっていて、また、歴史的地名もより多く使われていますので歴史の教科との連携も考えられるため、帝国書院の地図帳を使ってほしいと考えます。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。社会・地図の教科書について、帝国書院が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、社会・地図について帝国書院を採択といたします。</p> <p>ここで、10分間休憩を取りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《 休 憩 》</p>
三木委員長	<p>それでは会議を再開いたします。</p> <p>続きまして、数学について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料7ページをご覧ください。数学について、ご説明いたします。</p> <p>7つの出版社を対象にしております。調査員は、啓林館と、大日本図書をA、その他をBとしております。また、学校の評価については、啓林館を1位に推している学校が3校、2位としているところが7校。大日本図書を1位に推している学校が0校、2位としているところが2校となっています。学校図書に関しては1位に推している学校が8校、2位としているところが1校あり、学校の評価が啓林館に次いで高くなっております。採択委員会においては、それらを総括し、啓林館を選定、学校図書を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、数学の採択にあたって、委員</p>

<p>長野委員</p>	<p>さんのご意見をいただきたいと思います。</p> <p>教科書を選ぶにあたって、勉強ですので子どもたちは好き嫌いもありますし、楽しくというのは理想であってなかなか現実では難しいものですが、それでも、学び始めた時にやろうという気持ち、意欲が持てるかどうか、それと、教えられるだけでなく学ぶ中で、自分でもっと調べよう、考えようという主体性が発揮できるかどうか、そういった点について考えながら教科書を見せていただきました。数学につきましては、小学校高学年あたりから苦手意識を持つ子どもたちが増えてくる教科ではないかと思います。さらに中学校に進学すると名前も算数から数学に変わり、大きなステップということで苦手意識を持ったり、心理的な抵抗感も大変大きいのではないかなと思います。そうした生徒たちを含め、得意な子はもちろんですけども、子どもたちが自分から学ぼうという気持ちを持って取り組める一つの方法としては、やはり小中学校の連携だと思います。小学校では啓林館の教科書を使用していると思いますが、同じ教科書を中学校でも使用することで、少しでも抵抗感を和らげ、よりスムーズに意欲を持って教科に取り組めるのではないかなと思いますので、私は採択委員会が選定しております啓林館を推薦します。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>私も調査委員さん、採択委員会のみなさん、そして長野委員さんもおっしゃられていました啓林館を推薦したいと思います。啓林館の教科書は他の教科書と比較しますと、新しく学ぶ分野の説明がしっかりされていて、その後に問題が出てくるのですが段階を踏んで例題や練習問題が出されていて、順を追ってだんだん学習を深めることができるようになっていました。教科書の中でそういった深みのあるところまである学習が巧緻で、よくできた教科書だなと思いました。そして、各章の最後には日常生活に照らし合わせた問題がありました。私も数学はあまり得意ではなかったのですが、この勉強をされていて日常生活にどう関わるのかなというのを知るのは大変大切なことだと思います。そういう意味で、章の最後には必ず日常生活に照らし合わせて、そこもしっかりと説明できていたので、私は啓林館を推薦したいと思います。</p>

三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
阿部教育長	<p>私も啓林館を推薦したいと思います。普通教科書は、国語や歴史、地理などといった呼び方をしていますが、啓林館は「未来へ広がる数学」や「未来へ広がる数学マ스ナビ」といった別冊のブックがついていて、全面改訂をしていると思います。基礎的な内容を重視していて、また小学校でも啓林館を使用していることから、スパイラルな学びができると思います。また、各学年それぞれの教科書の中で、先ほど伊藤委員さんも言われましたが、單元ごとに「数学展望台」や「千思万考」、「数学広場」などのいろいろな項目が作られていて、身の回りでの数学の活用が題材とされていていいなと思いました。案外小学校の時に分数や少数でつまずいて、中学校でまたつまずいてということがあるのだけれども、例えば1年生では誕生日を当てる項目があったり、2年生の一次関数のところでは新幹線のダイヤが取り入れられたり、3年生の標本調査という單元では選挙の当確予想を載せていました。よく選挙で得票率というのがあるけれど、一体どのように数学とつながりがあったのかというのを改めて感じました。そういったことから、啓林館の教科書には子どもに数学の楽しさや学びに興味関心を持たせるものがあると思い、私は啓林館を推薦したいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。数学の教科書について、啓林館が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、数学について啓林館を採択いたします。</p> <p>次に、理科について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料8ページをご覧ください。理科について、ご説明いたします。5つの出版社を対象にしております。調査員は、東京書籍と教育出版をA、その他をBとしております。また、学校の評価については、東京書籍を1位に推している学校が10校、2位としているところが2校、教育出版を1位に推している学校が0校、2位としているところが、6校となっています。採択委員会においては、それらを総括し、</p>

	<p>東京書籍を選定、教育出版を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、理科の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
宮内委員	<p>理科は調査員さんと採択委員会の選定どおり東京書籍を推薦いたします。東京書籍は「学びを広げよう」「確かめと応用」といった項目できれいに配置されておりまして、「科学でGO!」などの読み物も配置されて、非常に興味を引くつくりになっていました。しかも、図、写真、グラフなどが必要に応じて使用されており、非常に使いやすい教科書ではないかなと思います。教育出版に関しては、要点で必要なところをきれいに整理されて、また「ハローサイエンス」で興味を引く努力がなされていて、しかもレイアウトが非常にすっきりしているのでいいのですが、学力が平均点以上の子どもさんならすっきり理解できるのですが、すべての子どもが使用するとすると、やはり東京書籍の方がいいのではないかと思いました。啓林館は教科書とマイノートを組み合わせて使用して、非常に努力はあるのですが、記述が少なくて淡白な表現が多いと感じました。学校図書は写真や図が大きくて、その分記述が少なくて読みにくいところがあると思います。大日本図書は逆に、記述が多く詰め込まれすぎているような感じがしました。私はこのようなことから判断いたしました。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
長野委員	<p>私も採択委員会が選定した東京書籍を推薦したいと思います。理科は関心を持てるかどうか非常に大きいと思います。パッと見た時に美しい、すごい、これは何だという感動と言いますか、感覚に訴えるものがあって入ると、頭で理解しながら入るとでは子どもたちの興味関心の高まり方に差が出るのではないかなと思います。そういう意味で教科書を見せていただきましたが、東京書籍は写真や図が鮮明で美しく、適切に配置されているなと思いました。また、それぞれの単元の導入のところでは写真などを巧みに使って、子どもたちがずっと意識的にも入っていけるような使いやすさを工夫してありますし、学年の発達段階に即して理科学習の進め方などの解説もありました。理科離れという言葉がありますが、感動から入る理科というのもこれ</p>

三木委員長	<p>から中学生にはして行ってほしいと思いますので、私は東京書籍の教科書を推薦します。</p> <p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。理科の教科書について、東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、理科について東京書籍を採択といたします。</p> <p>次に、音楽・一般について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料9ページをご覧ください。音楽・一般について、ご説明いたします。2つの出版社を対象にしております。調査員は、教育出版をA、教育芸術社をBとしております。また、学校の評価については、教育出版を1位に推している学校が7校、2位に推している学校が5校となっています。採択委員会においては、それらを総括し、教育出版社を選定、教育芸術社を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、音楽・一般の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
阿部教育長	<p>私は教育出版を推薦したいと思います。生徒の発達段階に応じて、多様で親しみやすい教材が取り上げられていると思いました。また各題材と活動のポイントが具体的に教科書に説明されているので、生徒たちも学習内容がわかりやすいのではないかなと思います。また楽譜が見やすく、ところどころにある紙面いっぱいの美しい写真も子どもの情操を育むのに適しているのではないかと思います。このことから教育出版を推薦したいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。音楽・一般の教科書について、教育出版が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>

三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、音楽・一般について教育出版を採択いたします。</p> <p>次に、音楽・器楽合奏について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料10ページをご覧ください。音楽・器楽合奏について、ご説明いたします。2つの出版社を対象にしております。調査員は、教育出版をA、教育芸術社をBとしております。また、学校の評価については、教育出版を1位に推している学校が7校、2位に推している学校が5校となっています。採択委員会においては、それらを総括し、教育出版社を選定、教育芸術社を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、音楽・器楽合奏の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
長野委員	<p>2つの出版社の教科書について、必要な内容についてはどちらも十分に抑えられているなと感じましたが、私も採択委員会の選定した教育出版を推薦したいと思います。それは、教育出版の方が知識や技能だけでなく、その背景にある歴史や文化についても丁寧に触れていると思いました。特に日本の伝統音楽を子どもたちは身近に知る機会は少ないですが、そういうものにも興味関心が持てるような工夫がなされているところがいいと思いますので、教育出版を推薦したいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。音楽・器楽合奏の教科書について、教育出版が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、音楽・器楽合奏について教育出版を採択いたします。</p> <p>次に、美術について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料11ページをご覧ください。美術について、ご説明いたします。</p>

<p>三木委員長</p>	<p>3つの出版社を対象にしております。調査員は、日本文教出版と開隆堂をA、光村図書をBとしております。また、学校の評価については、日本文教出版を1位に推している学校が8校、2位としているところが4校となっております。開隆堂を1位に推している学校が2校、2位としているところが5校となっております。採択委員会においては、それらを総括し、日本文教出版を選定、開隆堂を次点としております。ご審議をお願いします。</p> <p>ありがとうございます。それでは、美術の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>私も採択委員会と同様に日本文教出版を推薦いたします。日本文教出版の教科書はクリエイティブで、ページをめくるうちに何かやってみようという気持ちが起こってきます。開隆堂は文字が小さくて読みにくい感じを受けました。光村図書は全体的に説明調で、少しくリエイティブではないのかなという感じを受けました。以上のことから日本文教出版を推薦します。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございます。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。美術の教科書について、日本文教出版が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、美術について日本文教出版を採択いたします。</p> <p>次に、保健体育について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>井上指導主幹</p>	<p>資料12ページをご覧ください。保健体育について、ご説明いたします。4つの出版社を対象にしております。調査員は、学研がA、その他をBとしておりますが、同じBでも各項目のA評価が多かったのは大日本図書となっております。また、学校の評価については、学研を1位に推している学校が9校、2位としているところが1校となっております。大日本図書を1位に推している学校が0校、2位としているところが5校となっております。東京書籍を1位に推している学校が2校、2位としているところが6校となっております。採択委員会にお</p>

	<p>いては、それらを総括し、学研を選定、大日本図書を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、保健体育の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
伊藤委員	<p>私は調査員さん、採択委員会と同じように学研の教科書を推薦したいと思います。書いている内容に関してはどの教科書もそんなに差はなかったのですが、学研の違いは図が非常にわかりやすい、何を説明しているのかが一目でわかるという図の使い方をしていました。そこがよかったです。また、写真も見ただけで何を教えようとしているのかわかりやすい。このあたりが他の出版社と全く違う点だと感じます。そういった点で学研をお薦めしたいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。 それでは、採決を行います。保健体育の教科書について、学研が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、保健体育について学研を採択といたします。 次に、技術・家庭の技術分野について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料13ページをご覧ください。技術・家庭の技術分野について、ご説明いたします。3つの出版社を対象にしております。調査員は、東京書籍と開隆堂がA、教育図書をBとしております。また、学校の評価については、東京書籍を1位に推している学校が11校、2位が1校。開隆堂を1位に推している学校が1校、2位が8校となっております。採択委員会においては、それらを総括し、東京書籍を選定、開隆堂を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、技術・家庭の技術分野の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>

阿部教育長	<p>私は東京書籍を推薦したいと思います。関連するページや教材が表示されていて、生徒の発達段階に応じたものになっているのではないかなと思います。従来のサイズとは異なっていますが、大きくなったことから内容量が増え、レイアウトが見やすくわかりやすくなっていると思います。「技能の確実な習得」というページが設けられて、基礎的な知識や技能が身に付くように写真付きで説明されています。そういった配慮がなされていることから、東京書籍を推薦したいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。技術・家庭の技術分野の教科書について、東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、技術・家庭の技術分野について東京書籍を採択といたします。</p> <p>次に、技術・家庭の家庭分野について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>資料14ページをご覧ください。技術・家庭の家庭分野について、ご説明いたします。3つの出版社を対象にしております。調査員は、教育図書がA、東京書籍がB、開隆堂をCとしております。また、学校の評価については、教育図書を1位に推している学校が2校、2位としているところが4校となっています。東京書籍を1位に推している学校が10校です。開隆堂を1位に推している学校が0校、2位としているところが8校となっています。採択委員会においては、調査員の評価が最も高い点を重視し、それらを総括し、教育図書を選定し、東京書籍を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、技術・家庭の家庭分野の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
長野委員	<p>採択委員会の選定している教育図書を推薦したいと思います。3つの出版社それぞれに内容的にも抑えられているし、工夫があるなど感</p>

	<p>じながら見せていただきました。その中で、教育図書には実践例というのが多く、具体的にこういうことができる、こういうことに使えるということがたくさん出ていて、子どもたちがそれを見ながら実際の自分の生活に活かしていこうという意欲が高められるような工夫がされた教科書になっていると思いました。また、学習の振り返りを入れながら、基礎的な内容の定着も図れていますし、可愛いイラストも配置されて、優しい文章で語りかけるように生活について見直す、新しい生活の仕方など主体的に無理なく学習を進めていける教科書ではないかなと思いました。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。技術・家庭の家庭分野の教科書について、教育図書が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、技術・家庭の家庭分野について教育図書を採択といたします。</p> <p>次に、英語について、事務局から説明をお願いします。</p>
井上指導主幹	<p>15ページをご覧ください。英語について、ご説明いたします。6つの出版社を対象にしております。調査員は、開隆堂、教育出版をA、学校図書、東京書籍をB、三省堂、光村図書をCとしております。また、学校の評価については、開隆堂を1位に推している学校が9校、2位としているところが2校となっています。教育出版を1位に推している学校が1校、2位としているところが4校となっています。採択委員会においては、それらを総括し、開隆堂を選定、教育出版を次点としております。ご審議をお願いします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。それでは、英語の採択にあたって、委員さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
宮内委員	<p>私は開隆堂を推薦いたします。開隆堂は「Basic Dialog」「New Word」「My Project」と統一された章立てになっていて、レイアウトも非常に見やすい配慮がしてあります。また、絵カードがついていることか</p>

<p>三木委員長</p>	<p>ら授業の工夫が可能ではないかと考えます。教育出版は「Hop」「Step」「Jump」という構成になっていて、巻末に「Essentials」と題したノートが付属しているなど非常に興味のある取組がなされています。学校図書は1ページに多くのことが詰め込まれていて圧迫感があります。東京書籍は今までの通常の英語の教科書という雰囲気、開隆堂と比べて工夫が感じられませんでした。三省堂は平板な感じがして、子どもたちが興味を示さないのではないかと懸念します。光村に関しては「Word Square」というところを作って理解を深めようと努力はしているのですが、全体的に記述に乏しい感じがしました。以上のことから、私は調査員さん、採択委員会と同様に開隆堂を推薦します。</p> <p>ありがとうございます。他にご意見ございませんか。</p> <p>それでは、採決を行います。英語の教科書について、開隆堂が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、英語について開隆堂を採択いたします。</p> <p>以上で、議案第38号「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」終了といたします。</p> <p>ここで、10分間休憩を取りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《 休 憩 》</p>
<p>三木委員長</p>	<p>それでは、会議を再開いたします。</p> <p>議案第39号「新居浜市美術品購入基金条例施行規則の制定について」事務局からご説明をお願いいたします。</p>
<p>赤尾次長兼総合文化施設管理課長</p>	<p>平成27年4月の組織機構の見直しに伴いまして、平成27年6月議会で新居浜市美術品購入基金条例をご承認いただいたところでございます。今回は当該条例の施行に関し必要な事項について、施行規則としてまとめさせていただきましたので、本議案を提案させていただきます。</p> <p>それでは、ご説明いたします。新居浜市美術品購入基金条例施行規則第1条では趣旨、第2条では用語の定義、第3条では基金の運用に</p>

<p>三木委員長</p>	<p>ついて、第4条では基金動産の貸出しについて、第5条では備付台帳について、このようなことを定めさせていただいております。大きくは美術品を購入するときに必要な計画書の様式でございますとか、台帳に記すべき事柄等について様式をまとめさせていただきました規則でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ただ今のご説明で、何かご質問やご意見はございませんか。</p> <p>それでは、議案第39号について、ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。では、承認とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の4ページをご覧ください。</p> <p>7月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>16日 平成27年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が砥部町で開催されました。記念講演として坂村真民記念館館長西澤孝一氏の講演が行われました。</p> <p>台風11号の接近が予想され、17日に警報が発令されるおそれ強いことから、一日早く小中学校の第1学期終業式を行いました。</p> <p>18日 念願であった、あかがねミュージアムが完成し開館式典が開催されました。20日までの3日間は、オープニングイベントとして様々な企画が催されました。前日の開館記念式典は台風11号の影響で中止されたことが残念でした。</p> <p>平成27年度第17回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会が、県立新居浜南高等学校で開催されました。なお、安藤遥さん(新居浜南高等学校)が準優勝しました。</p> <p>19日～24日 平成27年度第67回県総体に選手434人、役員監督75名総計509名が参加しました。</p> <p>21日 各学校の校長・教頭・教務主任と教育長との懇談会が8月6日までの期間行われました。</p> <p>22日 第51回新居浜市小学校水泳記録会が金栄小学校と高</p>

津小学校で開催されました。

8月6日から9日までの期間「愛顔の芽」育成事業として岩手県陸前高田市に、交流事業として出発する中学生を代表して市長表敬訪問がありました。

ボーイスカウト新居浜第2団の吉川直希さん（新居浜工業高等専門学校3年生）と、宮本夏樹さん（新居浜東高等学校3年生）が高校世代としては最高位のスカウトに授与される富士章を受章したことを市長に報告に来られました。

平成27年度第2回新居浜市政策懇談会が開催されました。

24日 平成27年度新居浜市学校給食研修会が調理員・栄養士・各校の管理職や給食主任等の学校給食関係者が「学校給食の異物混入、食中毒等の例から見る衛生管理について」と題しての講演を、サラヤ（株）四国営業所食品衛生サポートインストラクター新居由章氏に依頼して行われました。

24日～26日 発達障がい支援者のための実践セミナーが、こども発達支援センターで連続3日間の日程で開催されました。発達障がい等の人たちへの療育、教育等に携わっている方15名を対象に、実際に子どもさんに協力をいただきながら、発達障がいへの理解を深め、支援技術のさらなる習得を目的とした講義及び実習を実践実技研修会として行いました。今年は公開講座を設けたところ64名の方が参加してくれました。子どもたちとのかかわりの中で求められているのだと強く感じました。指導講師として発達障がい支援に高度なノウハウを持つ「ライフサポートここはうす」、「社会福祉法人澄心」、「今人倶楽部」の先生方のご支援をいただきました。ありがとうございました。

26日 平成27年度「新居浜市小・中学生子ども会議」が開催されました。昨年度の子ども会議でいじめのない楽しい学校づくりのために、市内統一の新居浜市子ども人権宣言が策定されました。

新居浜市子ども人権宣言文

一 私たちは、みんなで団結し、強い心でいじめのない新居浜にします。

一 私たちは、元気よく挨拶をし、どんな時でも友達にやさしくきらきら輝く笑顔で接します。

一 私たちは、自分も友達も大切にし、いいところを伝えます。

一 私たちは、仲間と協力し、助け合える人になります。

一 私たちは、上記を基にして、各学校で実践をします。

平成26年7月27日

新居浜市小・中学生

この宣言が各学校でどのように取り組まれたかについて、中萩小学校と北中学校の取組が発表されたことを基に、各学校での取組を4つのグループに分かれて話し合いました。また、中学校区ごとに小学校と中学校が互いに交流をしての取組について情報交換が行われました。

第29回市民一斉清掃が行われました。教育委員会はグリーンフィールドの清掃を行いました。

29日～30日 平成27年度合唱コンクール管内大会兼第82回NHK全国学校音楽コンクール東予地区コンクールが開催され、小学校では角野小学校・高津小学校・泉川小学校、中学校では角野中学校・東中学校・西中学校が8月5・6日に行われる県大会に出場することになりました。

30日 県総体の報告会が行われ、主な成績として、見事団体優勝は、バドミントン女子川東中、ソフトボール女子川東中、おしくも準優勝には、バドミントン女子中萩中となりました。それぞれ四国大会に出場します。個人としてバドミントン女子シングルス・ダブルス、卓球女子シングルス、陸上男子・女子、水泳男子・女子、体操競技女子の選手42名が8月1・2日の四国大会に参加することになりました。選手の努力とともに、保護者・指導者等関係者のみなさん方の取組の成果だと思えます。ご苦労様でした。感謝申し上げます。

9月26日から10月3日に、ロシアのソチで開催される2015 I W A S 大会（水泳競技）に出場することになった、中萩中学校の岡部歩乃佳さんが市長に喜びを報告されました。岡部さんは日本身体障がい者水泳連盟にて選考され、日本代表選手として派遣されます。

30日～8月7日 教育委員会取組方針の7月末までの進捗状況の教育長・事務局長ヒアリングが実施されました。後で、報告いたします。

30日～31日 心理アセスメント研修兼第2回特別支援教育コーディネーター研修会が開催され、第1日目はW I S C - III・IVの発達検査の基礎と実技研修、2日目は小学校教科書改訂にみるユニバーサルデザイン化について、両日65人の教職員が参加し、学びました。

31日 平成27年度新居浜市中学生国際交流事業アメリカ訪問団の第1回事前研修会が開催されました。訪問団の主旨や目的、日程、パスポートの取得等についての説明が行われました。出発までに7回の予定で事前研修を行うことになっています。10月24日から11月3日までの9泊11日間の体験活動となります。

8月1日 新居浜ユネスコ協会主催「平和の鐘を鳴らそう」事業が開催されました。

1日～2日 中学校四国総体が開催されました。

2日 あすなろ教室学習会進路相談会が開催され、今治精華高校・今治明德高校・新居浜西高校・西条高校・学校法人河原学園・新居浜高等学院が参加してくれました。

3日 平成27年度特別支援教育講演会が開催され、「自尊感情・自己肯定感を育てるために～子どもの将来を見ずえて「今」に取り組む～」のテーマで、特別支援教育分野では著名である愛媛大学教授花熊暁氏に講演していただきました。小・中学校の教員540人が参加され、社会的自立・就労に繋がる力とは何かをわかりやすく説明していただきました。学校教育現場に生かされるものと期待いたします。

4日～6日 銅山の里少年自然の家で、英語キャンプが実施されました。

4日～8日 あすなろ教室学習会が開催されました。

5日 ESD教職員研修会が開催され、鳴門教育大学副学長近森憲助教授による基調講演は「持続可能な開発のための教育(ESD)とは?・私の考え方」、実践事例紹介は、徳島県阿南市立羽ノ浦中学校細川威典校長先生が「中学校でのESDの取り組みについて」、松山市立新玉小学校宇都宮由紀先生が「アフリカのモザンビークとの国際交流について」1年生から6年生までの各学年での発達段階に応じた取組が紹介されました。

NHK合唱コンクール愛媛県大会小学校の部が松山市民会館で開催されました。角野小学校が金賞を獲得しました。6日の中学校の部では、角野中学校が金賞を獲得し、ともに27・28日に開催される四国大会への代表となりました。四国大会でも活躍することを期待したいと思います。

6日 中学校四国総体報告会が市民文化センターで開催されました。晴れて全国大会に出場することになったのは、川東中学校のソフトボール部優勝、バドミントン女子シングルス準優勝、中萩中

学校のバドミントン女子団体準優勝、卓球女子シングルス、西中学校の2年女子陸上1500mの25名が北海道・東北地方での大会に参加することになりました。これまでの積み重ねの成果を期待したいものです。

第2回教育支援委員会が発達支援センターで開催され、66件の特別支援学級入級や通級、学校支援員等の配置について協議いたしました。

市PTA連合会が市内中学生に呼びかけて実施されている、陸前高田ボランティア活動交流会が、9日までの期間実施されました。

7日 中学生アメリカ訪問団第2回事前研修会が開催されました。

A L Tとして2年間活躍してくれた David Michael Laba (デイビッド マイケル ラバ)さんの後任として、新規A L Tの T Scott Tamaki (ティ スコット タマキ) さんが着任し、市長を表敬訪問しました。

10日～11日 平成27年度前期発達支援スキルアップ連続講座が新居浜高専で開催されました。「インクルーシブ教育システム構築のために」のテーマで愛媛大学附属特別支援学校長吉松靖文氏に講演していただき、保・幼・小・中・高で何をすべきかを学びました。

11日 インターハイのウエイトリフティング男子53kg級で優勝した川上高輝さん(新居浜工業高等学校)と、全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会75kg級で準優勝した安藤遥さん(新居浜南高等学校)が市長に報告に来られました。

ボーイスカウトのオーストラリアからの派遣スカウトが市長に活動の報告に来られました。

その他、8月の主な行事予定について報告を申し上げます。

17日 中学生アメリカ訪問団第3回事前研修会

18日 あすなろ教室学習会

第2回新居浜あかがね算数・数学コンテスト
(市民文化センター)

19日 第3回学習環境委員会(市民文化センター)

第1回地域発達支援協議会
(新居浜市特別支援学校川西分校)

20日 第2回小中学校教務主任研修会(市民文化センター)

24日 小中学校人権・同和教育講演会(市民文化センター)

	<p>25日 中学生アメリカ訪問団第4回事前研修会 第2回教育支援相談会（発達支援センター）</p> <p>26日 第2回通学路連絡協議会（市民文化センター）</p> <p>27日 第3回教育支援委員会（発達支援センター） 学習環境委員会及び構成的グループエンカウンター学 習会（別子銅山記念図書館）</p> <p>28日 第4回小中学校教頭研修会（市民文化センター） 授業力向上委員会</p> <p>29日～30日 第5回笑顔甲子園</p> <p>30日 市P連レクバレーボール大会</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの教育長さんの一般報告で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不登校について 2 いじめについて 3 不審者情報 4 交通事故について
三木委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、その他に移ります。平成27年度教育委員会取組方針について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
木村事務局長	<p>平成27年度教育委員会取組方針につきましては、年度初めに各委員さんにお示ししたところですが、7月末までの取組状況を教育長を中心に各課のヒアリングをさせていただきまして、結果を取りまとめしております。ご覧いただき、内容についてご意見ご質問がございましたら、再来週28日の金曜日までに事務局までお伝えいただけましたら、お答えしますし、訂正していきたいと思っております。それを受けまして、その後教育委員会のホームページに掲載して、市民に公開して</p>

	<p>いきたいと思いますので、よろしく願いいたします。また、今年4月から教育委員会所管になりました総合文化施設につきましては、当初の取組方針ができておりません。ヒアリングにつきましても、7月18日オープンということで時間がなかったものですから今後行って、結果につきましては各委員さんにまたお知らせしたいと思いますので、後日総合文化施設についてご説明させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見はございませんか。</p>
	<p>次に、学校図書館センターだよりについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>高橋学校教育課長</p>	<p>学校図書館支援センターだよりNo. 3をご覧ください。6月に発行いたしましたNo. 2に引き続きまして、左側は学校図書館ESDコーナー紹介ということで、惣開小学校と新居浜小学校のESDコーナーの紹介を掲載させていただいております。また右側につきましては、国語科や読書感想文の授業支援ということで、それぞれ4年生の授業支援の様子を紹介しております。2枚目は7月の授業支援の回数でございます。平成27年度7月の授業支援の回数は178回で、平成26年度の155回と比べますと増えております。また、下側に書いておりますが、新居浜小学校、若宮小学校、船木小学校、南中学校、西中学校、川東中学校、東中学校はコーディネーターが学校図書館を訪問しまして、ESDコーナーづくりの助言を行いました。他の学校につきましても、今後計画的にESDコーナーづくりの支援ということで訪問する予定になっております。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見はございませんか。</p> <p>その他、何か連絡事項等はございませんか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>お手元にQ-U検査結果の資料があると思います。昨年までは小学4年生から中学3年生までで実施しておりましたが、小学1年生からという要望があり、子どもたちの学級生活の様子がつかめるようにということで1年生から実施しました。その内容についてですが、青いところが全国平均で、黄色が新居浜です。</p>

まず小学校ですが、1年生から6年生の全国と新居浜市の子どもを比較した場合、学級生活満足群が新居浜は49%、全国では40%で、学級生活不満足群という正反対のところは新居浜19%、全国24%です。

次に具体的な項目で見えていきますと、「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」というのがあります。低学年には「勉強ができるようになると頑張っていますか」、高学年には「良い成績を取ったり勉強ができるように努力していますか」と質問の仕方は違いますが、低学年と高学年でわかりやすいような捉え方で質問をしています。「とてもそう思う」というところの1年から3年までの数字と比べますと、4年から6年は40%台で少なくなっています。次に「あなたのクラスはみんな仲良く協力してくれていますか」、「あなたのクラスはみんな協力しあっていると思いますか」という質問も、やはり低学年と高学年で数字にバラつきがあるなど感じます。「クラスの人と色々なことをするのは楽しいですか」、「クラスは活動にまともって取り組んでいますか」ということについて、低学年は「とてもそう思う」という子が多いのですが、高学年は30%台になっています。低学年と高学年での子どもの発達段階の違いというのが、このあたりよく出ているのではないかなと思います。これらを学校現場で担任がどう把握していくかが大事です。

また、次の「居心地の良いクラスにするためのアンケート」というところで、やはり低学年と高学年で差があります。また学年が上がるにつれて「とてもそう思う」という子どもが減ってきています。具体的には「嫌なことを言われる」というのは、1年生で20.9%とありますが、どのくらい把握ができているのか。また「クラスの人に乱暴なことをされることもある」という1年生が17.3%、そのことから「学校に行きたくないことがある」という子どもが16.2%と非常によく似た数字になっています。逆に高学年は「クラスの人に暴力をふるわれることがある」というのが6年生で1.4%、「クラスにいたくなくなる」というのが6年生で2.8%と、1年生より減ってきていいのだけれど、やはりこういう学級内でのいじめがまだ残ってきていると思います。次に「無視される」、「一人ぼっちでいる」というよく似た質問のところ、やはり低学年と高学年で差があり、特に小学1年生の子どもたちは、そのあたりをどう理解されているのかというのも、今後検討課題だと思います。

次に中学校です。中学校になると、学級満足群も非承認群も

学年であり変わりません。全国と比べますと、新居浜の子どもたちは満足しています。ただ、学級生活不満足群については全国平均と同じ傾向なので、検討を要すると思います。

次に「授業の内容は理解できる」というところを見てみますと、「とてもそう思う」というのが1年生では42%、3年生では26.9%と残念ながら下がっています。授業内容については、また先生方でわかる授業というのをしていかなければいけないと思います。次に「学校内に悩みを相談できる先生がいる」のが、1年生から3年生まで約20%でずっと続いています。逆に「全くそう思わない」という、相談できる先生がいないというのが、14%、17%、13%といて、全国平均よりは少ないけれども、15%近くの子どもが先生に対し、相談相手にならないという捉え方であります。このあたりを学校現場へ、また校長会等を通じて校長にもお知らせしていきたいと思います。また、「将来に対し夢や希望を持っているか」というところで、約半数の子どもは持っています。しかし、「全くそう思わない」というのが1年生で3.9%、3年生で7%とだんだん増えており、夢を失った子どもは自分の実力と実際の夢との格差を感じているのだなという思いを持っています。

次のページの「自分自身存在感があるか」というところで、「とてもそう思う」と「少しそう思う」というのを足すと、約50%近くなります。しかし、8%の子どもは「全くそう思わない」という子がいて、これはいじめられる疎外感を持っている子どもが選んでいるのかなと思っています。それから、「クラスの人から無視されることがある」というのは「全くそう思わない」という子どもが約70%近くおられます。全国平均と比べても20%近く高い数字でいいのですが、やはり「とてもそう思う」という子どもが1年生で2%、3年生でも0.5%いるということも学校現場も把握して、取り組まなければならないと思います。次に「授業中に冷やかされたことがある」というところで、教科の先生が授業をしており、授業中の教師の指導力を問われているということも質問の奥にはあるような気がしますが、「全くそう思わない」のが1年生で79%、3年生で70%、平均すると約75%の子どもです。約1%は授業中冷やかされている子どもがいるということ、やはり0ではなくこういう感情を持っている子どもがいるということ、この機会に学校現場ももう一度把握していきたいと思います。こういったことが影響しているのか、「学校に行きたくないときがある」というので、「全くそう思わない」のが50.3%、「あまりそう思わ

	<p>ない」のが16.7%で、足すと約70%です。しかし、「とてもそう思う」という子どもが新居浜市内で9.5%、約1割の子どもが行きたくないときがあると答えています。それが1年から3年になるにつれて増えており、先ほどの「夢を持っているか」ということにつながってきますので、学校は行ったら楽しいところという思いは持っていますが、やはりキャリア教育とかそういった取組を今後考えていかななくてはならないと思いました。</p> <p>なお、このQ-Uについては6月に実施しており、2回目を11月に実施します。そして変容を見ていきたいと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見はございませんか。</p>
宮内委員	<p>このQ-Uというのは、誰がどんなことを書いたか特定できるのですか。例えば、授業中冷やかされたとか学校に行きたくないとか、誰が答えたかわかるのですか。</p>
阿部教育長	<p>わかります。ですから、担任が個人指導していきますし、この夏休み中に各学年団が集まって、Q-Uについての評価結果を学年会として検討します。また、教育委員会の生徒指導部が市内の各学校からQ-U担当者を集めて、読み取り方についての研修会を開いています。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、何か連絡や報告等はございませんか。</p>
眞鍋総括次長兼社会教育課長	<p>お手元に「請願に対する審議結果について（通知）」という文章をお配りしております。これにつきましては、6月22日付け、教科書採択における調査研究・選定過程に関する請願について、7月14日開催の本委員会定例会において会議に付した結果を回答いたしますので、お目通しいただけたらと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、連絡事項等はございませんか。</p>
桑原学校給食課長	<p>学校給費未納状況についてご説明いたします。 <資料に基づき説明> 1 未納状況</p>

	2回収状況
三木委員長	ありがとうございました。ただ今の説明で、何かご質問やご意見等 はございませんか。他に連絡事項等ございませんか。
阿部教育長	愛媛新聞記事のコピーをお配りしています。あかがねミュージアム の開館、特別支援学校での講演、その他教育長報告にありました内容 の記事です。またお目通しください。
三木委員長	ありがとうございました。他に連絡事項等ございませんか。
横井次長兼図書館長	図書館要覧の平成27年度版ができましたので、みなさまにお渡し いたしました。図書館に関する統計資料は、これを見ていただいたら 全て出ております。昨年度蔵書冊数は約33万冊、来館者はだいたい 一日平均700～800人来ており、夏休みになりますと1,300 人という非常に多くの方が来ていただいて、読書や勉強をしていただ いています。
三木委員長	ありがとうございました。他に連絡事項等ございませんでしょうか。
阿部教育長	教育委員さん、できましたら船木中学校のホームページを見ていた だきたいのですが、今年教育委員会ですべて初めて、東平で2泊3日の英語 キャンプをしました。東京から18名の大学生と高円宮杯英語スピー チコンテストに出た高校生3名のボランティアに来ていただきました。 新居浜の子どもたち48名が参加し、新居浜の英語科の教師とボ ランティアとで、英会話でゲームをしたりいろんな活動をしてくれま した。できたら来年2回目をやりたいなと思っています。ただ、東京 の大学生は毎年という訳にいかないのが、新居浜の子どもたちへの ような英会話の指導ができるのか、そのあたりを今後学校教育課でも 検討してもらわないといけないなと思っています。今年1回目が開催 されまして、船木中学校のホームページに出ておりますので、見てい ただきたいと思います。
三木委員長	ありがとうございました。ただ今の説明で、何かご質問やご意見等 はございませんか。

宮内委員	<p>英語キャンプですが、新居浜市が採用しているALTの方にリードしていただくとか、また新居浜に海外の方が結構いらっしゃると思うので、ボランティアで参加してくれませんかというのは難しいですかね。</p>
阿部教育長	<p>そのあたりも考えていきたいと思います。今回もALTが3名と、小学校におります日本人の英語指導員にも参加してもらっています。おそらく大学生や英語担当教諭と子どもたちは、1対1または1対2くらいで研修ができたと思っています。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他連絡事項等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次回の定例会の日程を決定させていただきたいと思います。9月の定例会は、9月11日金曜日の15時00分から開催させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>これで、平成27年第8回教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>